

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 日本アンテナ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6930 URL <http://www.nippon-antenna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀧澤 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 清水 重三

TEL 03-3893-5221

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,438	16.4	991	—	997	—	683	—
25年3月期第3四半期	12,405	△37.4	△32	—	△28	—	△403	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 713百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 13百万円 (△97.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	52.87	—
25年3月期第3四半期	△31.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第3四半期	26,468	—	22,049	—	83.3	—
25年3月期	26,569	—	21,607	—	81.3	—

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 22,049百万円 25年3月期 21,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,800	11.9	1,300	353.9	1,300	335.6	850	—	65.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	14,300,000 株	25年3月期	14,300,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	1,372,840 株	25年3月期	1,372,810 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	12,927,172 株	25年3月期3Q	12,927,190 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。
2. 業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策により、円高の修正、株価の上昇が進み、企業業績にも改善がみられるなど、緩やかに回復基調が続いておりますが、海外では新興国の成長鈍化、欧州財政問題等の不安要素もあり、依然として先行き不透明となっております。

当業界におきましては、テレビ関連機器は4月の消費増税を前にした新築住宅着工やテレビ販売の増加に伴う需要が期待されるものの、地デジ移行による市場低迷から回復するには至らず、厳しい状況が続いております。通信関連につきましては、官需向け、民需向けともに市場は堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは、収益性に重点をおいた企業活動を推進し、新製品の開発、コストダウンへの継続的取組、業務の効率化による経費の適正な運営等に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,438百万円（前年同期比16.4%増）となり、営業利益は991百万円（前年同期は32百万円の営業損失）、経常利益は997百万円（前年同期は28百万円の経常損失）、四半期純利益は683百万円（前年同期は403百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (送受信用製品製造事業)

当事業部門において、テレビ受信用アンテナの売上高につきましては、消費増税前の駆け込み需要の影響により、年末にかけ若干回復の兆しが見えましたが、全体的には低調に推移し、前年同期比減となりました。

映像通信用電子機器の売上高につきましては、テレビの販売低迷により家庭用分波器、分配器等が伸び悩んだものの、テレビ電波塔移転対策向けブースターやCATV向け機器の販売が好調であったため、前年同期比増となりました。

通信用アンテナの売上高につきましては、官需向けデジタル無線用アンテナやフィルター機器が順調に推移し、周波数移行に伴う需要もあったことから、前年同期比増となりました。

これらの結果、売上高は10,780百万円（前年同期比19.7%増）となり、営業利益は1,319百万円（同115.2%増）となりました。

#### (工事事業)

当事業部門におきましては、新築ビル内共聴工事は伸び悩み、また、前期好調であったアナログ放送電波障害施設撤去は大幅減となりましたが、テレビ電波塔移転に伴う対策工事やコミュニティFM工事等により、売上高は3,657百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は312百万円（同92.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券、土地、長期預金等の増加と、現金及び預金等の減少により、前連結会計年度末比101百万円減の26,468百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等の増加や、賞与引当金、工事未払金、退職給付引当金等の減少により、前連結会計年度末比543百万円減の4,419百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上及び配当の支払等により、前連結会計年度末比442百万円増の22,049百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末81.3%から83.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあり得ます。

その要因の主なものは、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場動向、為替相場の変動等であります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表した内容から変更しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成26年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正（設立60周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,563	11,827
受取手形及び売掛金	5,035	5,038
有価証券	—	569
商品及び製品	1,771	2,003
仕掛品	24	79
原材料及び貯蔵品	382	448
未成工事支出金	341	502
繰延税金資産	506	547
その他	451	471
貸倒引当金	△33	△31
流動資産合計	22,043	21,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,531	4,386
減価償却累計額	△3,347	△3,282
建物及び構築物(純額)	1,184	1,104
機械装置及び運搬具	1,432	1,416
減価償却累計額	△1,352	△1,349
機械装置及び運搬具(純額)	80	66
工具、器具及び備品	2,651	2,644
減価償却累計額	△2,439	△2,451
工具、器具及び備品(純額)	211	193
土地	801	1,197
リース資産	36	48
減価償却累計額	△11	△17
リース資産(純額)	25	31
有形固定資産合計	2,304	2,593
無形固定資産		
ソフトウェア	324	261
電話加入権	22	22
無形固定資産合計	347	284
投資その他の資産		
長期預金	—	300
投資有価証券	429	774
繰延税金資産	646	268
その他	829	792
貸倒引当金	△29	△2
投資その他の資産合計	1,874	2,132
固定資産合計	4,525	5,010
資産合計	26,569	26,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,979	2,216
工事未払金	443	279
未払費用	179	192
リース債務	6	9
未払法人税等	56	72
賞与引当金	371	183
その他	903	536
流動負債合計	3,940	3,490
固定負債		
リース債務	19	22
退職給付引当金	834	737
長期未払金	112	112
資産除去債務	56	56
その他	0	0
固定負債合計	1,022	928
負債合計	4,962	4,419
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,673	4,673
資本剰余金	6,318	6,318
利益剰余金	11,463	11,875
自己株式	△989	△989
株主資本合計	21,466	21,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118	113
為替換算調整勘定	21	56
その他の包括利益累計額合計	140	170
純資産合計	21,607	22,049
負債純資産合計	26,569	26,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高		
製品売上高	9,006	10,780
完成工事高	3,399	3,657
売上高合計	12,405	14,438
売上原価		
製品売上原価	5,860	7,102
完成工事原価	2,564	2,663
売上原価合計	8,425	9,765
売上総利益	3,980	4,672
販売費及び一般管理費	4,013	3,680
営業利益又は営業損失(△)	△32	991
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	7	21
貸倒引当金戻入額	19	4
その他	52	30
営業外収益合計	91	67
営業外費用		
売上割引	60	52
為替差損	26	9
その他	0	0
営業外費用合計	87	61
経常利益又は経常損失(△)	△28	997
特別利益		
固定資産売却益	17	93
ゴルフ会員権売却益	3	—
特別利益合計	20	93
特別損失		
固定資産処分損	9	3
投資有価証券評価損	5	0
事業譲渡損	447	—
ゴルフ会員権評価損	2	0
特別損失合計	463	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△471	1,086
法人税、住民税及び事業税	36	61
法人税等調整額	△104	341
法人税等合計	△68	403
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△403	683
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△403	683

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△403	683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△5
為替換算調整勘定	448	35
その他の包括利益合計	417	30
四半期包括利益	13	713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13	713
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	送受信 製品製造事業	工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,006	3,399	12,405	—	12,405
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	9,006	3,399	12,405	—	12,405
セグメント利益	613	162	775	△808	△32

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	送受信 製品製造事業	工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,780	3,657	14,438	—	14,438
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	10,780	3,657	14,438	—	14,438
セグメント利益	1,319	312	1,631	△639	991

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。